

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
形態機能学Ⅱ(解剖生理学)		BNSB2L05	20105	1前	1(30)	必修
担当教員	八代 健太、小林 大祐、中島 由郎、茂田 昌樹、松尾 和彦					
概要	解剖生理学では、人体を構成する各臓器の構造(解剖)とはたらき(生理)を学び、理解することを目的としています。ここでの理解は、疾患と病態、それに対する治療と看護を学ぶ上での基礎となります。また、実習を通じて、知識の習得に加え、「生命」の荘厳さを認識し、医療に携わるものとしての心構えと倫理観を養ってください。ここでは、消化器、運動器(骨格・筋)、循環器(血液・心臓・血管・リンパ管)、呼吸器(気管・気管支・肺)及び泌尿器(腎臓)について学びます。					
学修目標	1. 人体の各臓器・器官の構造を理解し、説明できる。 2. 各臓器・器官のはたらきを、構造の理解を基にして専門用語を用いて具体的に説明できる。					
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力		全人的人間理解		職業倫理と人権擁護	
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	◎
回	学修内容/担当			予習・復習内容		
1	身体の支持と運動(骨格と筋)/中島			授業内で指示します。		
2	栄養の消化と吸収(口・咽頭・食道)/茂田			授業内で指示します。		
3	栄養の消化と吸収(胃・小腸・大腸・消化吸収)/茂田			授業内で指示します。		
4	栄養の消化と吸収(肝胆膵・腹膜)/松尾			授業内で指示します。		
5	呼吸と血液の働き(血液)/松尾			授業内で指示します。		
6	呼吸と血液の働き(呼吸器の構成)/小林			授業内で指示します。		
7	呼吸と血液の働き(呼吸運動と呼吸気量、ガス交換)/小林			授業内で指示します。		
8	血液の循環とその調節(心臓)/八代			授業内で指示します。		
9	血液の循環とその調節(心臓)/八代			授業内で指示します。		
10	血液の循環とその調節(循環)/八代			授業内で指示します。		
11	血液の循環とその調節(血圧・リンパ)/八代			授業内で指示します。		
12	体液の調節と尿の生成(腎・排泄路・体液調節)/中島			授業内で指示します。		
13	解剖見学実習			授業内で指示します。		
14	解剖見学実習			授業内で指示します。		
15	解剖見学実習			授業内で指示します。		
使用テキスト	坂井建雄ほか、『解剖生理学 人体の構造と機能1』、医学書院					
参考図書	メディックメディア「病気が見える」シリーズ(消化器、循環器、呼吸器、血液、腎・泌尿器、運動器・整形外科)					
成績評価基準	講義の出席、小テスト、及び試験の成績から総合的に評価します。					